

赤穂市農業委員会委員候補者(応募)の状況

番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者等の該当	応募の理由又は動機	農地利用最適化推進委員への応募
1	宮脇 信一郎	49	男	農業	JA兵庫西出資法人 (株)グリーンひょうご西 (14年間勤務) Sunny&Grass代表(令和元年～) 兵庫県稲作経営者会 副会長 JA兵庫西青壮年部 会長 上郡土地利用型農業研究会 副会長 現赤穂市農業委員	所有農地面積22.5a 耕作面積70ha 耕作品目(収穫量) 水稻(100t) 小麦(25t) 白大豆(25t) キャベツ(5t) 玉ねぎ(3t)等 農業従事日数280日 農業従事者数6人 (アルバイト含む)	該当	農業委員を2期務めさせていただき、赤穂市における農地の状況を把握できました。その中で、少子高齢化、担い手不足が加速していく中、次世代に農地利用を促していく事に貢献したいと思い再度応募しました。	無
2	井上 毅	72	男	農業	元赤穂市職員 現赤穂市農業委員	耕作面積10a みかん 農業従事日数200日	非該当	引き続き農地保全等に取り組みたい。	無
3	高田 徳幸	69	男	会社員 (非常勤)	元赤穂市職員(農村総合整備担当係長、 農林水産課長 外) 現赤穂市農業委員 その他 技術士(農業部門)	無	非該当	農業委員会は、農地に関する事務を公平かつ中立的に実施する市町村から独立した行政委員会です。その役割は、農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農地利用の最適化等、農業の健全な発展に寄与することです。 高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加といった地域農業の課題は山積しています。これらの課題を解決するため、改正農業経営基盤強化促進法に基づき、将来の農地利用の姿を明確にする「地域計画」が策定されました。 「地域計画」は一度策定したら終わりではなく、毎年PDCAサイクルを通じてブラッシュアップしていくことが重要です。 農業委員会は、地域の農業を持続させるために、「地域計画」の着実な実施と更新において重要な役割を担います。特に、10年後の農地利用の姿を示す「目標地図」実現に向けた調整においては、中心的な役割を果たすことになります。 私は非農家ですが、赤穂市職員として、ほ場整備事業を中心とした農業基盤整備事業に約20年携わってきました。その結果として市内の農業や地域の実情に接することになりました。 実務経験を活かし、専門的応用能力を必要とする計画・設計・評価等、指導的業務に携わる農業部門の「技術士」資格を取得することも出来ました。 赤穂市内の農地利用の最適化を始め「地域計画」PDCAサイクルにおいて、アドバイザーの活動をさせていただきたく応募いたしました。	無
4	岩本 泰夫	70	男	農業	昭和48年3月 県立上郡高等学校 卒 昭和52年4月 日本国有鉄道 入社 昭和62年4月 西日本旅客鉄道(株) 入社 平成8年3月 西日本旅客鉄道(株) 退職 現赤穂市農業委員	耕作面積15.7ha 米、麦、野菜 農業従事日数110日	該当	東有年地区の自治会長として、農地を含む全ての面でリーダーとして活躍して頑張っている。	無

5	松田 静	67	女	農業	現赤穂市農業委員 ひょうご農業委員会女性ネットワーク副会長 赤穂市民生委員児童委員	所有農地面積74a 耕作面積7ha 水稻、大豆 農産加工 農業従事日数240日	該当	異常気象や不安定な世界情勢の中、食糧自給率38%、実質10%とされている現状がいかんに危うい状況であるのか、多くの人に農業や食に関心をもってもらいたい。与えられた自然と共に生きていく地域や農業を、農業委員として、農業委員会という専門的立場のチームとして関わっていきたい。	無
6	丸尾 友明	46	男	農業	H29～ 農業委員 H16～H26 兵庫県高校教諭(農業) R2～ 兵庫県青年農業士	耕作面積25a ハウスイチゴ 収穫量12t 農業従事者数 常勤4人 非常勤3人 農業従事日数300日	該当	農業委員の仕事を通じ、より多くの農業関係者との関わりを深め、地域農業振興に貢献したい。また、農業従事者の高齢化による後継者不足、耕作放棄地の増大等の問題解決にも貢献していきたい。	無
7	沖 真祐美	31	女	農業	ドラッグストアアルバイト インターネット配信業個人事業主 農業	所有農地面積80a 耕作面積11ha 水稻 収穫量30t 農業従事日数225日 農業従事者数8人	該当	令和7年3月に就農し、認定新規就農者として折方地区の農地を預からせていただいています。日々農業に携わる中で、若手目線、女性目線の意見を農業委員会に反映させる必要があるということをお聞きました。自分はまだまだ勉強中の身ですが、若手農業者・女性農業者のひとりとして、赤穂市の農業のために少しでもお役に立てることがあればと思い、この度応募させていただきました。	無
8	大谷 世志美	65	女	農業	元周世ふれあい市場企業組合代表理事 現赤穂市農業委員	耕作面積8.5a 水稻、野菜 農業従事者数3人	該当	女性委員として何ができるのかと考えています。 松田委員とともに赤穂の農業の発展を考えていきたいです。	無
9	溝田 泰司	70	男	農業	平成20年1月 畜産・農業 平成25年4月 木津自治会長 平成29年7月 赤穂市農地利用最適化推進委員 令和5年7月 赤穂市農業委員	畜産・水稻経営	該当	農業委員として、経験を活かし地区の推進委員と連携しながら活動したい。	無